

## 重要取組シート

建設局 道路部 道路整備課

取組項目		【都市インフラの耐震化等の推進（防災・減災への備え）】 橋りょう耐震強化事業
現状・課題		<p>本事業は、市民の命と暮らしを守るため、今後想定される南海トラフ巨大地震等の大規模地震時に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えることを目的に、「緊急交通路等における橋りょう」210 橋の耐震化を行い、災害に強い都市基盤の整備を推進するものである。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「緊急交通路や津波避難路等に関する重要橋りょう」150 橋の耐震化は令和 4 年度に完了した。</li> <li>○現在は「緊急交通路等を跨ぐ横断歩道橋」や「緊急交通路を補完する道路に関する橋りょう」を追加した 60 橋の耐震化を進めている。このうち 55 橋の耐震化が完了しており、残る 5 橋についても引き続き耐震化を進めている。</li> <li>○令和 7 年度末の耐震化率は 97.6%（205/210 橋）である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和 8 年度以降に工事を実施する橋りょうは、地震で被害を受けやすい形式の橋脚を有し、河川内に橋脚を有するものが多く、多大な事業費が必要となる。</li> <li>○道路交通ネットワーク機能を良好な状態で維持し、災害に強い都市基盤の整備を推進するには、国庫補助金を活用しながら代替となる財源についても検討する必要がある。</li> <li>○事業の推進に当たっては専門知識を要するため、橋りょうに精通した技術者の人材育成が必要である。</li> </ul>
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「緊急交通路等における橋りょう」210 橋の耐震化の完了に向けて、残り 5 橋の耐震化を行い、道路交通ネットワーク機能を良好な状態で維持することで、暮らしの安全安心を確保する。</li> <li>○令和 8 年度は、平岡大橋の耐震対策工事を実施する。</li> </ul>
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 工事発注事務 1 橋
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> 工事着手 1 橋
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 工事発注 2 橋程度/年 <input type="checkbox"/> 設計発注 2 橋程度/年
進捗の状況	前期 (～9月)	

	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
	寄与する KPI	—	目標値 (2030 年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	—	目標値 (2030 年度) —